

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第5会場

9月6日(金) 10:00~11:30

1. 口腔ケア

座長：江川 広子 (明倫短期大学)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O1-1	なかつま かな 中妻 佳奈	徳島赤十字病院脳外科・ 救急科・皮膚科・形成外科	看護師・保 健師	急性期混合病棟における口腔内の磨き残し の評価
O1-2	よしかわ ひろお 吉川 浩郎	吉川歯科クリニック	歯科医師	県の助成を受け、バイオフィルムの破壊と 回収に重点を置いた口腔ケア手技伝達講習 会実施報告
O1-3	かとう としゆき 加藤 聡之	刈谷豊田総合病院呼吸 器・アレルギー疾患内科	医師	呼吸器病棟における口腔ケアの意識と実施 状況の年変化を受けての病棟看護師への再 教育介入の検討
O1-4	やざわ のぶこ 矢澤 展子	近森病院	看護師・保 健師	急性期病院における病棟看護師の口腔ケア に対する認識とケアの実態
O1-5	かとう えりか 加藤 栄理香	南部病院看護部	言語聴覚士	院内独自の口腔内評価表を用いた取り組み について
O1-6	はしづめ ももよ 橋詰 桃代	浜松市リハビリテーショ ン病院リハビリテーショ ン部	歯科衛生士	口腔カンジダ症と舌苔に対する天然製剤 「ネオナイシンe」配合口腔ケアジェルの効果 の検討
O1-7	みやはら こうた 宮原 康太	広島大学障害者歯科	歯科医師	剥離上皮膜の形成状態に口蓋の唾液腺分布 は影響するか
O1-8	あさひな ひろなお 朝比奈 凷直	松本歯科大学地域連携歯 科学講座	歯科医師	経管栄養患者における剥離上皮膜と全身疾 患との関係性
O1-9				演題取り下げ

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第6会場

9月6日(金) 10:00~11:30

2. 診断・評価-1

座長：梅本 丈二 (福岡大学病院摂食嚥下センター)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O2-1	てんぱく しょうけ 天白 陽介	松阪市民病院リハビリ テーション室	言語聴覚士	骨格筋量指数を用いた高齢肺炎症例の嚥下 食経口摂取に関する検討
O2-2	おおつば ひさのり 大坪 尚典	金沢市立病院リハビリ テーション室	理学療法士	KTバランスチャートによる統計解析の試 み
O2-3	こにし まさのり 小西 正訓	中村記念病院耳鼻咽喉科	医師	急性期脳卒中例の摂食機能とADLおよび 栄養状態の変化との関連
O2-4	いわさか けんいち 岩坂 憲一	城東中央病院リハビリ テーション科	言語聴覚士	延髄血管芽腫術後に咽頭期機能改善を認め た一例
O2-5	むたぐち なな 牟田口 奈々	花川病院リハビリテー ション部言語療法科	言語聴覚士	回復期脳卒中患者における舌圧および咀嚼 能率スコア—食形態カットオフ値の検討—
O2-6	おおむら ちほ 大村 千穂	武蔵台病院リハビリテー ション課	言語聴覚士	高齢認知機能低下患者の嚥下機能を安全に 評価するために—作成したフローチャート の運用報告—
O2-7	おの たくや 小野 琢也	博愛会病院リハビリテー ション科	言語聴覚士	摂食嚥下障害患者のゼリーの口腔内残留と 口腔機能の関連 (第2報) —オーラルディ アドコキネシスとの関連—
O2-8	ふじわら かずのり 藤原 和典	鳥取大学耳鼻咽喉・頭頸 部外科	医師	経口的手術後のマノメトリーを用いた嚥下 機能評価
O2-9	すずき まどか 鈴木 まどか	金沢市立病院リハビリ テーション室	言語聴覚士	嚥下障害患者の全食経口摂取に影響する要 因

9月6日(金) 14:20~15:10

3. 診断・評価-2

座長：熊倉 勇美 (千里リハビリテーション病院)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O3-1	さかい ことみ 堺 琴美	世田谷記念病院リハビリ テーション科	言語聴覚士	サルコペニア嚥下障害における舌骨上筋群 の活動特徴と診断精度
O3-2	もり まみや 森 真実也	刈谷豊田東病院リハビリ テーション科	言語聴覚士	介護老人保健施設入所中の認知症者におけ るスプーンテストの検討
O3-3	おおしま あきこ 大島 亜希子	朝日大学医科歯科医療セ ンター歯科衛生部	歯科衛生士	当センター摂食嚥下リハビリテーション部 におけるフローチャート作成
O3-4	のむら れな 野村 玲奈	朝日大学医科歯科医療セ ンター歯科衛生部	歯科衛生士	多施設で行う症例検討の有用性
O3-5	ふじしま しょうた 藤嶋 亮太	北海道がんセンターリハ ビリテーション科	言語聴覚士	嚥下評価が気管食道瘻の発見に有用であっ た2例

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第6会場

9月6日(金) 15:15~16:05

4. 診断・評価-4

座長：道脇 幸博（武蔵野赤十字病院特殊歯科・口腔外科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O4-1	せいのみこ 清野 由美子	新潟大学医学部保健学科	看護師・保健師	精神科病院における入院患者の誤嚥性肺炎リスク評価
O4-2	まつふじ たかひろ 松藤 隆広	京都大学医学部附属病院 リハビリテーション科	言語聴覚士	京都大学病院における入院時全例嚥下スクリーニング—スクリーニング陽性患者の特徴—
O4-3	おおはし みほ 大橋 美穂	藤田医科大学ばんだね病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	K-methodが咽頭圧へ与える影響—高解像度マノメトリーを用いた検討—
O4-4	めかた こうじろう 目かた 幸二郎	神戸赤十字病院リハビリ テーション科	作業療法士	頸椎異常群と正常群における嚥下時の頸椎の運動解析
O4-5	ちば のりこ 千葉 典子	りんくう総合医療センター	言語聴覚士	経口気管挿管患者の抜管時と退院時の嚥下Gradeと関連要因の検討

9月6日(金) 16:10~17:00

5. 診断・評価-6

座長：中川 量晴（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科老化制御系口腔老化制御学講座高齢者歯科学分野）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O5-1	いしかわ あすか 石川 明日香	調布東山病院リハビリ テーション科	言語聴覚士	急性期病院における高齢入院患者に対する入院時摂食嚥下スクリーニングの試み（第1報）
O5-2	おおくま るり 大熊 るり	調布東山病院リハビリ テーション科	医師	急性期病院における高齢入院患者に対する入院時摂食嚥下スクリーニングの試み（第2報）
O5-3	なかむら ともゆき 中村 智之	足利赤十字病院リハビリ テーション科	医師	食道病変の評価に嚥下造影が有効であった三例
O5-4	たてうち ひろき 蓼内 博樹	厚木市立病院リハビリ テーション技術科	言語聴覚士	転倒により環椎骨折と嚥下障害を呈した75歳女性例
O5-5	やまもと ゆうし 山本 祐士	鹿児島大学大学院医歯学 総合研究科小児歯科学分 野	歯科医師	小型3Dカメラを応用した試料嚥下時における口唇動作と嚥下動態の関連性の解明

一般演題 口演発表 9月6日(土) 第6会場

9月6日(金) 17:05~17:55

6. 診断・評価-7

座長：重松 孝（聖隷淡路病院リハビリテーション科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O6-1	さかい はるか 坂井 遥	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科衛生士	急性期病院における摂食嚥下障害患者の経口摂取再開に関する因子
O6-2	みながわ なつき 皆川 夏樹	みながわ往診クリニック	医師	慢性期療養病院における、誤嚥性肺炎の実態について(第2報)—入院時CT/採血データ等の解析
O6-3	みやがみ みつすけ 宮上 光祐	竹の塚脳神経リハビリテーション病院リハビリテーション科	医師	回復期原発性橋出血の嚥下障害の予後とCT画像
O6-4	むらせ まい 村瀬 舞	公立みつぎ総合病院リハビリ部	言語聴覚士	誤嚥と咽頭残留の有無による経口摂取の予後予測
O6-5	はやし ともこ 林 知子	協立温泉病院言語療法科	言語聴覚士	急性期から維持期まで「繋がる」嚥下評価とは—誤嚥性肺炎リピーターを減らすために—

一般演題 口演発表 9月6日（金） 第7会場

9月6日（金） 10:00～11:30

7. 多職種連携-1

座長：大塚 義顕（国立病院機構千葉東病院）

演題番号	演者	所属	職種	演題
07-1	とくしま ひろき 徳島 大樹	京都リハビリテーション 病院リハビリテーション 科	言語聴覚士	回復期病棟における摂食嚥下チームの取 組み—摂食機能療法における多職種連携に ついて—
07-2	かんばやし まどか 上林 円花	聖母病院リハビリテー ション科	言語聴覚士	当院における摂食嚥下チームの取組みに ついて
07-3	はしもと ゆみこ 橋本 由美子	国立病院機構鳥取医療セ ンター	看護師・保 健師	入院患者の肺炎発生病数を減らす—摂食嚥 下障害対策委員会の活動を通して—
07-4	やじま じゅんいち 矢島 淳一	北アルプス医療センター あづみ病院歯科口腔外科	歯科医師	当院における嚥下チームの臨床学的検討
07-5	ねもと あいこ 根本 愛子	J R 札幌病院	看護師・保 健師	当院における摂食嚥下障害対策チームの取 組みと今後の課題について
07-6	ふくお あきら 福生 瑛	東邦大学大森病院耳鼻咽 喉科	医師	嚥下障害対策チームに耳鼻咽喉科が参画し た効果に関する検討
07-7	おおほら かよこ 大洞 佳代子	北野病院リハビリテー ション科	医師	当院における口腔ケア・嚥下リハビリチ ームの役割
07-8	なかざわ ゆり 中澤 悠里	近石病院歯科・口腔外科	歯科医師	地域中核病院での歯科開設と摂食嚥下サ ポートチーム設立の経緯と今後の展望
07-9	やまもと みわ 山本 美和	旭労災病院中央リハビリ テーション部	言語聴覚士	多団体合同開催イベントにおける嚥下評価 実習研修会の今後の課題

9月6日（金） 14:20～15:10

8. 診断・評価-3

座長：太田 喜久夫（藤田医科大学医学部ロボット技術活用地域リハビリ医学寄附講座）

演題番号	演者	所属	職種	演題
08-1	おおた じゅんこ 太田 純子	中村記念病院	看護師・保 健師	当院看護師が行う摂食嚥下評価の正確性に ついての検討
08-2	わたなべ ひかる 渡邊 ひかる	みやぎ県南中核病院	言語聴覚士	NGチューブ抜去後の孔により一時的に食 道入口部を通過した症例
08-3	かねおか あさこ 兼岡 麻子	東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部	言語聴覚士	食道癌術後嚥下障害と摂食状況の経時的変 化
08-4	きんばら ひろこ 金原 寛子	公立松任石川中央病院薬 剤室	薬剤師	薬剤VEによる最適な服薬方法の検討
08-5	たがわ なおき 田川 直樹	国立循環器病研究セン ター脳血管内科	医師	脳卒中急性期患者における嚥下内視鏡検査 の有用性

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第7会場

9月6日(金) 15:15~16:05

9. 診断・評価-5

座長：水間 正澄（医療法人社団輝生会／昭和大学）

演題番号	演者	所属	職種	演題
09-1	くわばら あやこ 桑原 亜矢子	藤田医科大学病院リハビリテーション部	言語聴覚士	当院膠原病患者における嚥下障害の経時的追跡調査
09-2	おおはし のぶひで 大橋 伸英	横浜市立大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能制御学	歯科医師	嚥下障害を呈した抗SRP抗体陽性壊死性筋症の一例
09-3	やましろう こうへい 山城 航平	藤田医科大学七栗記念病院リハビリテーション部	言語聴覚士	延髄外側病変における帰結に關与する因子の検討
09-4	あきやま なおと 秋山 直登	浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部	言語聴覚士	咀嚼の運動負荷の違いが慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸機能に及ぼす影響
09-5	ばんば こうじ 番場 康治	介護老人保健施設吹田徳洲苑リハビリテーション科	言語聴覚士	レビー小体型認知症とアルツハイマー病の嚥下障害の差異についての検討

一般演題 口演発表 9月6日（金） 第9会場

9月6日（金） 10:00～11:20

10. 食事・栄養-1

座長：依田 清子（いわさき歯科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O10-1	よこやま あきこ 横山 明子	東京大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	看護師・保健師	市販アイスクリーム類の食品テクスチャー特性の経時的変化について
O10-2	わたなべ えみみ 渡邊 英美	同志社女子大学生生活科学部食物科学科	管理栄養士・栄養士	学会分類2013コード4に基づいて調理された食事のかたさ測定の試み
O10-3	つかはら なみ 塚原 なみ	金沢医療センターリハビリテーション科	言語聴覚士	間歇的口腔食道経管栄養法により患者QOLを維持しながら嚥下訓練を継続できたワレンベルグ症候群の一症例
O10-4	おの だ しろうた 小野田 翔太	上尾中央総合病院リハビリテーション技術科	理学療法士	当院誤嚥性肺炎患者における経口摂取再獲得に関わる要因の検証
O10-5	すずき ふみひこ 鈴木 史彦	奥羽大学歯学部地域医療支援歯科（口腔ケア・摂食嚥下リハ）	歯科医師	老健入所者の食事が自立から介助となる要因の検討 第1報 介助の有無に関係する要因の横断的検討
O10-6	やしま まなみ 八島 真奈美	生愛会生活期総合リハビリテーションセンター	歯科衛生士	老健入所者の食事が自立から介助となる要因の検討 第2報 老健入所中に食事が介助となった5例の分析
O10-7	なかやま さおり 中山 佐織	弘前大学医学部附属病院リハビリテーション部	言語聴覚士	一般住民における災害時嚥下食の飲み込みやすさと誤嚥リスクの検討
O10-8	たかはし ともこ 高橋 智子	神奈川工科大学応用バイオ科学部栄養生命科学科	大学・専門学校等教員	サワー種添加パンクラムの力学的特性と高齢者・若年者によるやわらかさの評価

9月6日（金） 14:20～15:10

11. 食事・栄養-2

座長：黒田 留美子（高齢者ソフト食研究会）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O11-1	いとう ゆみこ 伊藤 由美子	広島文教大学人間科学部人間栄養学科	管理栄養士・栄養士	在宅訪問歯科診療患者の食事形態と栄養摂取状況調査—栄養状態別の比較—
O11-2	しらい ゆか 白井 祐佳	浜松医科大学医学部附属病院栄養部	管理栄養士・栄養士	食道癌患者における栄養障害と嚥下能力の関連性：後向きコホート研究
O11-3	たなべ まり 田邊 満里	東京山手メディカルセンターリハビリテーション科	言語聴覚士	嚥下訓練患者の舌圧と摂取栄養量の関係
O11-4	やました あいこ 山下 亜依子	静岡県立静岡がんセンター栄養室	管理栄養士・栄養士	静岡がんセンターにおける摂食・嚥下機能低下栄養食事指導の経過について
O11-5	なかがわ ゆうこ 中川 裕子	実践女子大学生生活科学部食生活科学科	大学・専門学校等教員	ユニバーサルデザインフード（UDF）の美味しさと食べやすさに関する検証II

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第9会場

9月6日(金) 15:15~16:05

12. 食事・栄養-3

座長：江頭 文江（地域栄養ケアPEACH厚木）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O12-1	はやかわ なお 早川 奈緒	丹野病院	言語聴覚士	リクライニング角度調整を行い食道入口部の開大を認めた症例
O12-2	しんどう やよい 新藤 弥生	江東リハビリテーション病院	管理栄養士・ 栄養士	「刻み食」にかわる新たな食形態「超軟菜食」の試み—見た目も損なわず安全な食事の開発—
O12-3	いしざわ さちえ 石澤 幸江	新潟医療福祉大学健康科学部健康栄養学科	管理栄養士・ 栄養士	食べ方に課題を有する統合失調患者への咀嚼練習介入効果
O12-4	おおつか ちえこ 大塚 千恵子	メルヴェイユ吹田	管理栄養士・ 栄養士	『学会分類コード3・4への挑戦』—凍結含浸調理法の導入を試みて 第二報—
O12-5	あおき れいこ 青木 玲子	聖フランシスコ病院リハビリテーション科	言語聴覚士	90歳以上超高齢者の発語数と食事形態との関連

9月6日(金) 16:10~16:50

13. 食事・栄養-4

座長：千木良 あさ子（千木良デンタルクリニック）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O13-1	とうごう まさなり 東郷 将成	立命館大学総合科学技術研究機構	管理栄養士・ 栄養士	療養型病院の入院患者における栄養剤の投与粘度の違いが発熱および炎症反応に及ぼす影響
O13-2	やの さとこ 矢野 聡子	茨城県立医療大学保健医療学部看護学科	看護師・保健師	茨城県内の病院・施設における「嚥下食」提供の状況—10年間・20年間の変化—
O13-3	たかはし ようへい 高橋 洋平	上越総合病院栄養科	管理栄養士・ 栄養士	「学会分類2013」コード別の提供状況と嚥下調整食名称の実態—中越NST嚥下調整食調査からの報告—
O13-4	さとう ちかこ 佐藤 誓子	神戸女子大学健康福祉学部	管理栄養士・ 栄養士	学校給食における嚥下調整食の栄養量の検討

一般演題 口演発表 9月6日（金） 第10会場

9月6日（金） 10:00～11:00

14. ADL・QOL-1

座長：山根 由紀子（旭川医科大学医学部看護学科看護学講座在宅看護学領域）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O14-1	いしい みき 石井 美紀	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科高齢者 歯科学分野	歯科医師	慢性期摂食嚥下障害患者の生活の質および 活動性と摂食嚥下機能の関連性
O14-2	いはら よしあき 伊原 良明	昭和大学歯学部スペシャ ルニーズ口腔医学講座口 腔リハビリテーション医 学部門	歯科医師	舌がん患者における切除範囲と口腔機能お よびQOL変化
O14-3	よしや ともはる 吉屋 智晴	廿日市記念病院外科	医師	嚥下機能の再評価を行う事で食事を再開し 得た高度食道裂孔ヘルニアの一例
O14-4	とやま けいち 外山 慶一	潤和会記念病院リハビリ テーション療法部	言語聴覚士	当院における誤嚥性肺炎の関連因子の分析 とリハビリテーションの効果の検討
O14-5	やすい ゆきこ 安井 由希子	原土井病院リハビリテー ション部	言語聴覚士	咀嚼可能な高齢者における嚥下障害につい ての検討
O14-6	おじま かずえ 小嶋 和絵	市立芦屋病院脳神経内科	医師	顎下腺癌治療後の嚥下障害に対し間歇的口腔 胃経管栄養（IOG法）を導入した1症例

9月6日（金） 14:20～15:10

15. 看護-1

座長：小山 珠美（口から食べる幸せを守る会）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O15-1	かねこ ひろみ 金子 浩美	虎の門病院	看護師・保 健師	若手看護師が入院患者の食事介助に抱く困 難感について
O15-2	いしかわ ゆきえ 石川 祐希恵	松戸市立総合医療セン ター看護局	看護師・保 健師	嚥下障害患者への食事ならびに内服方法に 関する病棟看護師に対するアンケート
O15-3	こしみず もとこ 古清水 元子	諏訪赤十字病院脳神経内 科	看護師・保 健師	認定看護師の嚥下ラウンドによる誤嚥防止 の取り組み
O15-4	こたに いつみ 小谷 いつみ	兵庫県立加古川医療セン ター	看護師・保 健師	急性期病院の看護師による意識障害患者へ の経口摂取を目指した早期介入
O15-5	ながいけ よしつぐ 長池 佳亜	NTT伊豆病院回復期リ ハビリテーション病棟	看護師・保 健師	「妻の手料理を食べたい」という希望を実 現するための看護を振り返る

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第10会場

9月6日(金) 15:15~16:05

16. 訓練-2

座長：外山 稔（京都先端科学大学健康医療学部言語聴覚学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O16-1	つねみね かな 常峰 かな	京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科	言語聴覚士	専任言語聴覚士による頭頸部癌術期摂食嚥下管理の有効性について
O16-2	はら じゅんいち 原 純一	きらり健康生活協同組合 上松川診療所歯科口腔外科	歯科医師	プライマリケア診療所外来患者への嚥下評価後の液体誤嚥防止対策に関わるコメディカルの重要な役割について
O16-3	いまむら あかね 今村 茜	わかくさ竜間リハビリテーション病院療法部療法課	言語聴覚士	段階的咀嚼訓練により咀嚼運動に改善を認めた一症例
O16-4	ますむら ゆうた 増村 裕太	戸田中央リハビリテーション病院	言語聴覚士	重度失語症により嚥下訓練の遂行が難渋した症例
O16-5	たなべ あおい 田辺 葵	戸田中央リハビリテーション病院	言語聴覚士	早出、遅出で摂食機能療法を実施した、重度摂食嚥下障害の1例

9月6日(金) 16:10~17:00

17. 食事・栄養-5

座長：曾根 翠（東京都立東大和療育センター）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O17-1	なかむら じゅんや 中村 純也	ときわ病院歯科口腔外科	歯科医師	急性期病棟・地域包括ケア病棟における「食形態評価」システム導入およびその効果の検討
O17-2	みずしま さやか 水島 爽	聖ヶ丘病院リハビリテーションセンター	言語聴覚士	経管栄養から経口摂取へ移行する予測因子
O17-3	なご しょうたろう 名古 将太郎	千里リハビリテーション病院セラピー部	言語聴覚士	当院における飽和蒸気調理機を用いた嚥下調整食の取り組み（第7報：家庭用調理機との比較）
O17-4	きくら おしひこ 木倉 敏彦	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内科	医師	栄養管理と完全側臥位法で経口摂取・自宅復帰が可能となった多系統萎縮症の一例
O17-5	ふるかわ りほ 古川 莉帆	原土井病院リハビリテーション部	言語聴覚士	入院時から絶食となった肺炎患者の摂食状況

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第10会場

9月6日(金) 17:05~17:55

18. 食事・栄養-6

座長：工藤 美香（駒沢女子大学人間健康学部健康栄養学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O18-1	わかつき みらい 若月 未来	西宮協立脳神経外科病院 栄養科	管理栄養士・ 栄養士	エンシュア・Hの服薬コンプライアンス向上の工夫
O18-2	にしやま こういちろう 西山 耕一郎	西山耳鼻咽喉科医院東海 大学	医師	紹介受診した高齢者嚥下障害例の検討
O18-3	いがらし かよこ 五十嵐 佳代子	福島県総合療育センター	管理栄養士・ 栄養士	福島県総合療育センターにおける必要栄養量確保に向けた小児嚥下調整食の改良の取り組み
O18-4	くどう いくえ 工藤 育恵	JR札幌病院リハビリテー ション室	言語聴覚士	呼吸器疾患と器質的摂食嚥下障害のある患者への完全側臥位法
O18-5	いしだ ゆりあ 石田 優利亞	愛知医科大学病院栄養部	管理栄養士・ 栄養士	急性期脳卒中患者における低栄養と摂食嚥下障害回復の関連

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第11会場

9月6日(金) 10:00~11:20

19. 地域リハ・在宅-1

座長：小笠原 正（松本歯科大学大学院歯学独立研究科健康増進口腔科学講座）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O19-1	にしぐち まいこ 西口 真意子	関西労災病院リハビリテーション科	医師	在宅摂食嚥下障害に対する情報通信技術を用いた遠隔リハビリテーション
O19-2	かわもと かつゆき 河本 勝之	草津総合病院頭頸部甲状腺外科センター・耳鼻咽喉科	医師	当院における多職種介入NST嚥下チームの取り組みと、嚥下障害による施設転院や死因の検討
O19-3	せんだ なおゆき 仙田 直之	総合病院松江生協病院耳鼻咽喉科	医師	松江医療圏域の摂食嚥下障害の病診連携
O19-4	いらい みき 岩井 美紀	いしかわ訪問看護ステーション	言語聴覚士	球脊髄性筋萎縮症患者に在宅で多職種・家族が連携し嚥下機能が改善した一例
O19-5	ながお きょうじ 長尾 恭史	岡崎市民病院リハビリテーション室	言語聴覚士	摂食嚥下地域連携の取り組み 第2報
O19-6	たかはし みずほ 高橋 瑞保	はちのへファミリークリニック	管理栄養士・栄養士	KTバランスチャートからみる八戸地域の訪問栄養食事指導の効果について
O19-7	とうま なおき 藤間 直樹	日本歯科大学医科病院栄養科	管理栄養士・栄養士	高齢者の在宅生活維持に必要な栄養情報の提供について
O19-8	こんどう さつき 近藤 さつき	日本歯科大学新潟病院栄養科	管理栄養士・栄養士	ショートステイ利用在宅要介護者へ栄養指導を行った1例

9月6日(金) 14:20~15:10

20. 終末期-1

座長：前田 圭介（愛知医科大学大学院緩和・支持医療学／緩和ケアセンター／栄養治療センター）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O20-1	のだ ゆきお 野田 幸男	清水富士山病院	医師	医療療養病床入院患者における入院時栄養摂取状況と生命予後の関係
O20-2	にしむら のりこ 西村 紀子	矢木脳神経外科病院	言語聴覚士	高齢嚥下障害者と家族の栄養手段の選択におけるOOVLを用いた意思決定支援
O20-3	つかたに としあき 塚谷 才明	公立松任石川中央病院耳鼻咽喉科	医師	嚥下評価をおこなった患者の生命予後に関する検討
O20-4	ふるた よしえ 古田 良恵	つくばセントラル病院	看護師・保健師	院内看護師に終末期患者に対するアンケートを行って
O20-5	いとうえ とうた 井上 登太	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック	医師	当院看取り症例における、誤嚥性肺炎既往率と死亡要因としての誤嚥性肺炎との関連

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第11会場

9月6日(金) 15:15~16:05

21. 研究-2

座長：井出 吉信 (東京歯科大学解剖学講座)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O21-1	ほた きちよ 保田 祥代	刈谷豊田総合病院リハビリテーション科	言語聴覚士	脳卒中急性期の経管患者の発症後6ヶ月調査
O21-2	なべくら ともこ 鍋倉 智子	花川病院リハビリテーション部言語療法科	言語聴覚士	回復期リハビリテーション病棟患者における最大舌圧と運動機能との関連について
O21-3	いとう なおき 伊藤 直樹	札幌歯科医師会口腔医療センター	歯科医師	下縦舌筋の三次元的走行と働き
O21-4	かたぎり ひろゆき 片桐 啓之	小千谷総合病院リハビリテーション科	言語聴覚士	一般介護予防事業で仮性球麻痺症状を呈する患者の実態調査
O21-5	うえは るみ 上羽 瑠美	東京大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医師	造影剤誤嚥による急性・慢性気道組織障害の組織学的・分子生物学的機序—嚥下造影検査で安全な造影剤は何か

9月6日(金) 16:10~17:00

22. 小児・療育-1

座長：田角 勝 (昭和大学医学部小児科学講座)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O22-1	しもじょう みか 下 條 美佳	訪問看護ステーションつばめ	看護師・保健師	在宅での小児に対する嚥下訓練の経過と課題
O22-2	ゆかわ ゆうこ 湯川 祐子	東京都立北療育医療センター城南分園	言語聴覚士	療育医療センターにおける摂食外来の臨床統計的観察—平成10年～30年初診患児の経年変化—
O22-3	たかだ あきこ 高田 亜希子	岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校	教諭・指導員	特別支援学校における自食に向けての取組事例—口腔機能を高めるアプローチと食具の工夫—
O22-4	きむ ちすん 金 志純	東京小児療育病院	看護師・保健師	重症心身障害児へのKTBC活用の一事例
O22-5	ふるくぼ りょう 古久保 良	紀南病院リハビリテーション科	言語聴覚士	直接母乳に強い執着があり離乳食移行に難渋している1例

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第11会場

9月6日(金) 17:05~17:55

23. 研究-4

座長：角 保徳（国立長寿医療研究センター／歯科口腔先進医療開発センター）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O23-1	たかばやし ふみよ 高林 ふみ代	静岡県立大学看護学部	薬剤師	とろみ剤を用いた薬効に影響しない酸化マグネシウム液の調整
O23-2	たけい えり 竹井 絵理	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	研究員	米菓摂取時の世代間咀嚼動態および食塊物性の違い
O23-3	ふきの けいこ 吹野 恵子	東京医科歯科大学医歯学総合研究科咬合機能矯正学分野	歯科医師	嚥下運動における口蓋咽頭筋の空間的配置に関する解剖学的意義
O23-4	やまもと えつこ 山本 悦子	埼玉医科大学病院リハビリテーション科	言語聴覚士	脳梗塞患者におけるpeak cough flowと誤嚥性肺炎発症の関連についての検討
O23-5	ひるむた まこと 蛭牟田 誠	藤田医科大学ばんだね病院リハビリテーション部	言語聴覚士	喉頭蓋谷残留と梨状窩残留に関連する因子の検討—High-resolution manometryと嚥下造影検査を用いた評価—

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第12会場

9月6日(金) 10:00~11:20

24. 研究-1

座長：小山 祐司（東海大学医学部リハビリテーション学講座）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O24-1	はぎの しゅうさく 萩野 周作	豊田厚生病院リハビリテーション技術科	言語聴覚士	当院におけるWallenberg症候群の嚥下障害症例11例の臨床的検討
O24-2	もりしま よしあき 森島 貴顕	東北医科薬科大学病院放射線部	放射線技師	嚥下造影検査（VF）時の術者被ばく防護における自作鉛防護板の効果
O24-3	おおの たいき 大野 太暉	徳島大学大学院先端技術科学教育部	学生・大学院生	9軸慣性センサを用いた嚥下運動モニタリングに向けた基礎的検討
O24-4	みちわき ゆきひろ 道脇 幸博	武蔵野赤十字病院特殊歯科・口腔外科	歯科医師	嚥下のバイオメカニクス解明のための呼吸運動のコンピュータ・シミュレーションの製作
O24-5	いのうえ もととき 井上 元幹	株式会社明治研究本部	企業関係者	Swallow Visionを用いた新しい食品の窒息リスク評価方法
O24-6	やわた あきこ 八幡 晶子	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	理学療法士	気道防御運動の運動特性比較
O24-7	たかす きこ 高巣 暉子	米盛病院リハビリテーション課	言語聴覚士	外傷性頸髄損傷に合併した嚥下障害—頸椎前方軟部組織厚増大との関連—第1報
O24-8	みついし たかゆき 三石 敬之	米盛病院リハビリテーション科	医師	外傷性頸髄損傷に合併した嚥下障害—頸椎前方軟部組織厚増大との関連—第2報

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第12会場

9月6日(金) 14:20~15:10

25. 訓練-1

座長：北條 京子（浜松市リハビリテーション病院リハビリテーション部）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O25-1	おごき ゆうだい 尾崎 雄大	博愛記念病院リハビリテーション科	言語聴覚士	左椎骨動脈解離による重度嚥下障害から経口摂取へ至った症例
O25-2	おおぐろ だいすけ 大黒 大輔	大阪はびきの医療センター	言語聴覚士	リクライニング0度側臥位（完全側臥位）は何にどのような機序で有効なのか？30度仰臥位との比較
O25-3	まえしま ちか 前島 ちか	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院リハビリテーション科	言語聴覚士	既往に頸髄損傷のある多発性脳梗塞の患者の摂食嚥下機能について
O25-4	たけなが ゆか 竹永 由佳	神谷病院リハビリテーション科	言語聴覚士	左前頭葉皮質下出血による重度嚥下障害に対して積極的な直接訓練を行い経口摂取が可能となった経験
O25-5	やすだ ともよ 安田 友世	京都府立医科大学付属病院看護部	看護師・保健師	下咽頭癌経口切除後の嚥下障害に嚥下機能改善手術およびリハビリテーション治療を行い経口可能となった1例

9月6日(金) 15:15~16:05

26. 訓練-3

座長：西尾 正輝（新潟医療福祉大学医療経営管理学部医療情報管理学科）

演題番号	演者	所属	職種	演題
O26-1	いまだ みほ 今田 美穂	宇野病院リハビリテーション部	言語聴覚士	不顕性誤嚥が残存したが、段階的摂食訓練にて経口摂取を獲得した橋梗塞の一例
O26-2	すずき まさる 鈴木 勝	名古屋共立病院リハビリテーション課	言語聴覚士	口腔機能向上バルーン訓練法を実施し、3食経口摂取に移行できた症例
O26-3	まつうら たけし 松浦 雄史	堺市立重症心身障害者（児）支援センターベルデさかい	言語聴覚士	声門閉鎖術を受けた意識障害を伴う重度障害者の摂食機能向上への取り組み
O26-4	なかまた なつみ 仲俣 菜都美	埼玉医科大学病院リハビリテーション科	言語聴覚士	経過中に重度嚥下障害を呈した視神経脊髄炎の1症例
O26-5	やまもと ひろかず 山本 寛和	兵庫県立リハビリテーション中央病院リハビリ療法部言語聴覚療法科	言語聴覚士	口蓋ミオクロームスを伴ったテント下出血の2例一本病態は嚥下障害の機能回復に影響を及ぼす因子なのか—

一般演題 口演発表 9月6日(金) 第12会場

9月6日(金) 16:10~16:50

27. 訓練-4

座長：豊島 義哉 (東名古屋病院リハビリテーション部)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O27-1	ひの はるか 日野 遥香	新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	歯科医師	頸静脈孔神経鞘腫術後に嚥下障害を認めてバルーン訓練が奏功した一例
O27-2	くりさわ しょうへい 栗澤 祥平	健和会病院	言語聴覚士	当院回復期における県外から入院した患者家族を中心とした完全側臥位法の退院支援
O27-3	かさい ゆきこ 笠井 幸子	京都府立医科大学附属北部医療センター	言語聴覚士	ウイルス性混合性喉頭麻痺患者の1例を経験して
O27-4	きとう よしとも 佐藤 義朝	いわてリハビリテーションセンター	医師	重複障害を有する重度嚥下障害に対し、完全側臥位法により3食自力摂取が可能となった1例

9月6日(金) 17:05~17:55

28. 訓練-5

座長：辻村 恭憲 (新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)

演題番号	演者	所属	職種	演題
O28-1	まつもと じゅんこ 松本 潤子	札幌優翔館病院リハビリテーション科	言語聴覚士	唾液嚥下時の閉口状態の改善と共に口腔内環境が改善した1例—唾液嚥下能力向上目的の上半身ストレッチ第5報
O28-2	たかはし まりん 高橋 茉莉	新潟リハビリテーション病院言語聴覚科	言語聴覚士	バルーン訓練時と食事場面で嚥下に差がみられたWallenberg症候群の一例
O28-3	こまつ ひろし 小松 寛	神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部	言語聴覚士	ICU入室患者に対するFrazier Water Protocolの施行経験
O28-4	まつはし たくや 松橋 拓矢	岩手大学大学院総合科学研究科バイオ・ロボティクス分野	学生・大学院生	多点表面筋電図を用いた舌骨上・下筋群の筋活動評価—フェイシャルフィットネス器具は間接訓練に有効か?—
O28-5	かない えみ 金井 枝美	横須賀共済病院リハビリテーション科	言語聴覚士	医療・介護現場における多職種に向けた嚥下訓練手技についてのアンケート調査結果